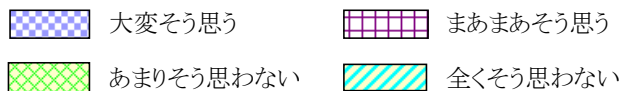
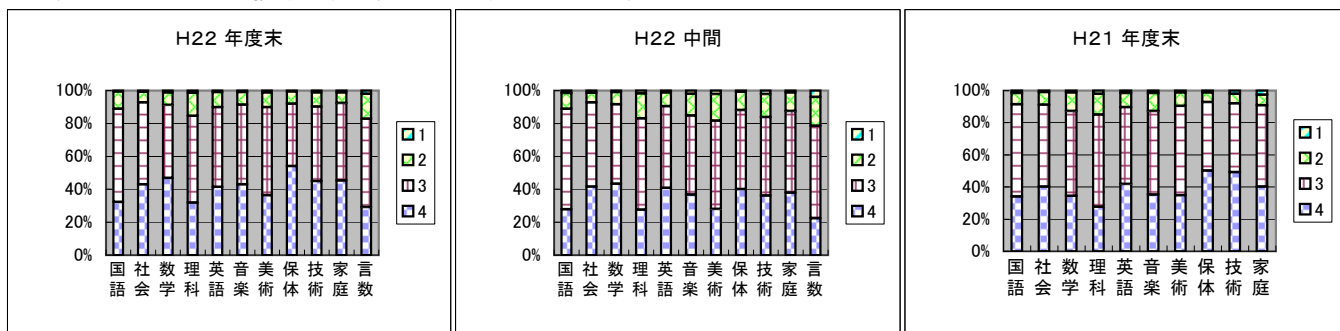


平成22年度 学校評価 生徒自己評価アンケート結果(2月)

平成23年3月1日
学校評価委員会

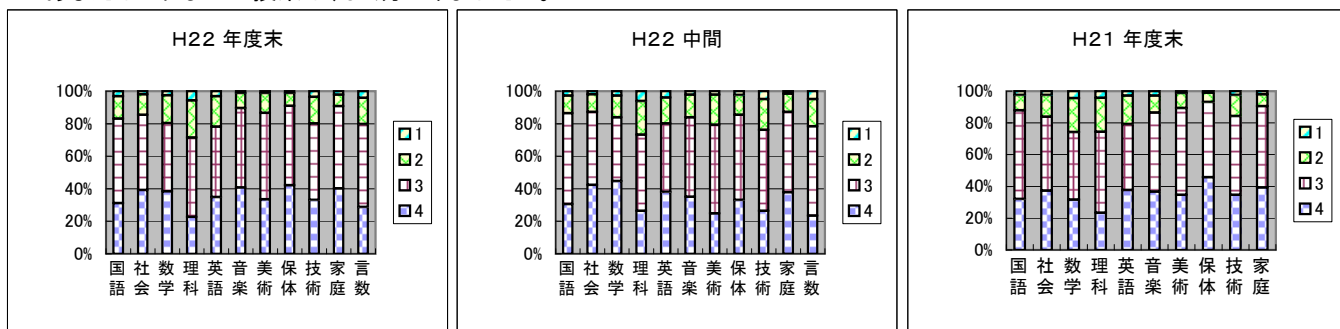


1 あなたはこれまでの授業に、意欲的に取り組みましたか。



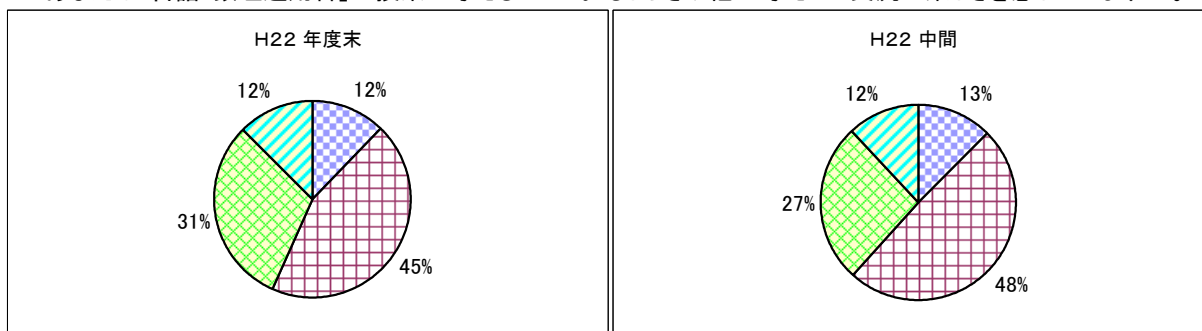
授業に意欲的に取り組んでいる割合は、全体で89.6%(中間86.5%, 昨年度末89.8%)であった。約9割の生徒が意欲的に授業に取り組んでいる点は本校の「大きな強み」である。引き続き、より質の高い授業を展開するための授業力向上と授業改善(特に思考力・表現力の向上を図る)をめざしていきたい。

2 あなたはこれまでの授業は、よく分かりましたか。



授業がよく分かったと感じる割合は、全体で83.3%(中間81.9%, 昨年度84.4%)であった。教科別でみると本年度末、本年度中間、昨年度末のデータを総合し、8割を下回っているのが理科(73.0%)、英語(79.1%)であった。理科については、家庭学習の取り組み結果と相関関係にある。

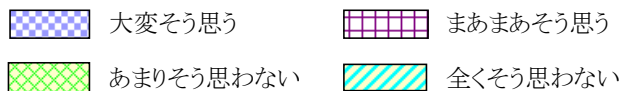
3 あなたは「言語・数理運用科」の授業で考えることのおもしろさや他の考えとの交流の楽しさを感じていますか。



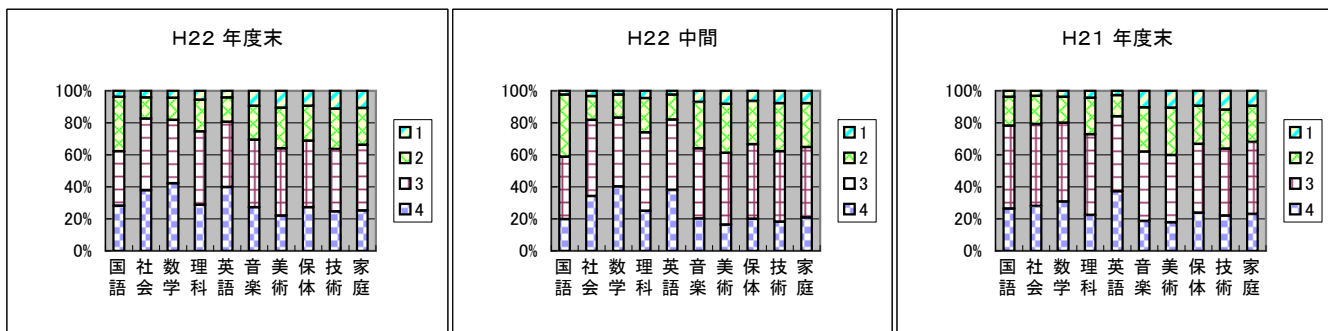
中間評価と比較して同様の結果となった。肯定的割合を学年別に比較してみると、1年生66%, 2年生48.8%, 3年生53.4%(中間評価1年生76.2%, 2年生46.9%, 3年生58.6%)であり、2年生にやや課題をみることができる。「考え、表現することの楽しさ」を各教科においても味あわせていく研究が必要と思われる。

平成22年度 学校評価 生徒自己評価アンケート結果(2月)

平成23年3月1日
学校評価委員会

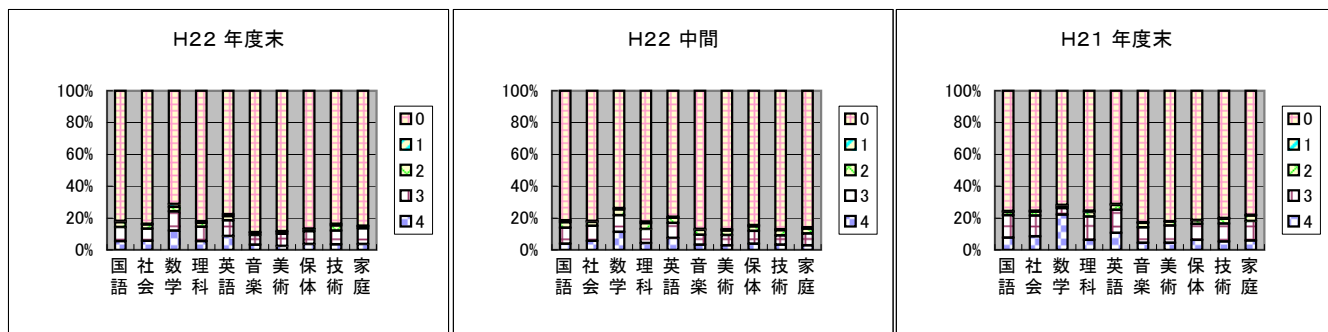


4 あなたはこれまでの授業に対する予習・復習や宿題等、家庭学習をしっかりと取り組みましたか。



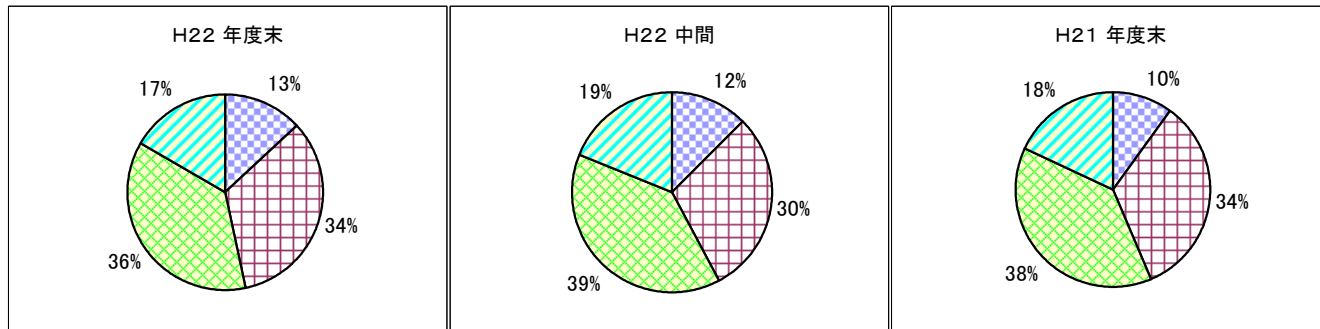
教科別にみてもと昨年度と比較して、実施率が大きく下ったのは国語科であった。(本年度末62.2%, 本年度中間58.76%, 昨年度末78.13%) 本校生徒の傾向は、与えられた課題はこなせるが、自分なりに工夫して勉強する点においてやや課題が感じられる。

5 あなたはこれまで、授業以外で個別指導や補充指導などで教えてもらい分かるようになりましたか。



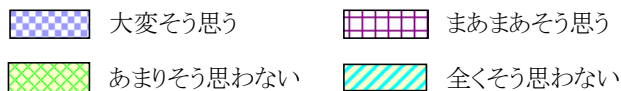
「個別に教えてもらう機会がなかった」と答えた割合が圧倒的であり、昨年度から同様の結果が続いている。個別や補充の指導を試みたいが教員の日々の多忙感から機会設定がかなり厳しい。こうしたなかで、数学科の実施は成果としてとらえることができる。改善として次年度は、大学生による支援事業も活用していきたいと考えている。

6 あなたは分からないところなどを先生に積極的に質問に行きましたか。

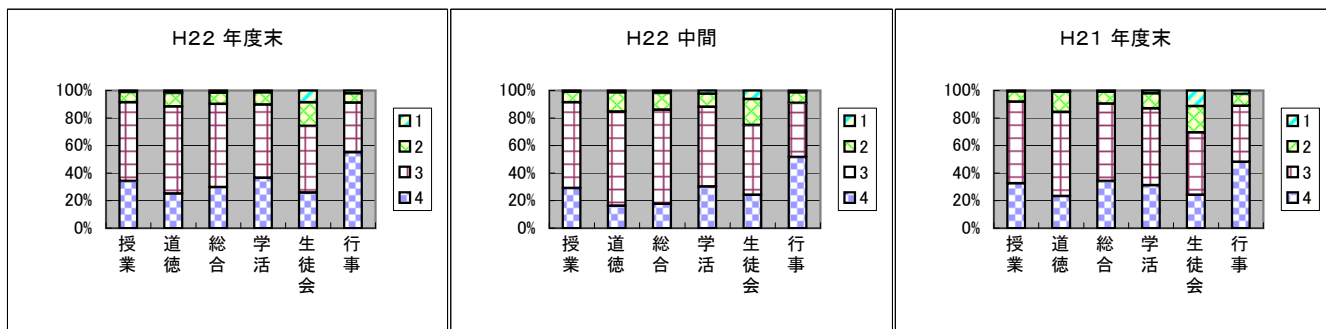


平成22年度 学校評価 生徒自己評価アンケート結果(2月)

平成23年3月1日
学校評価委員会

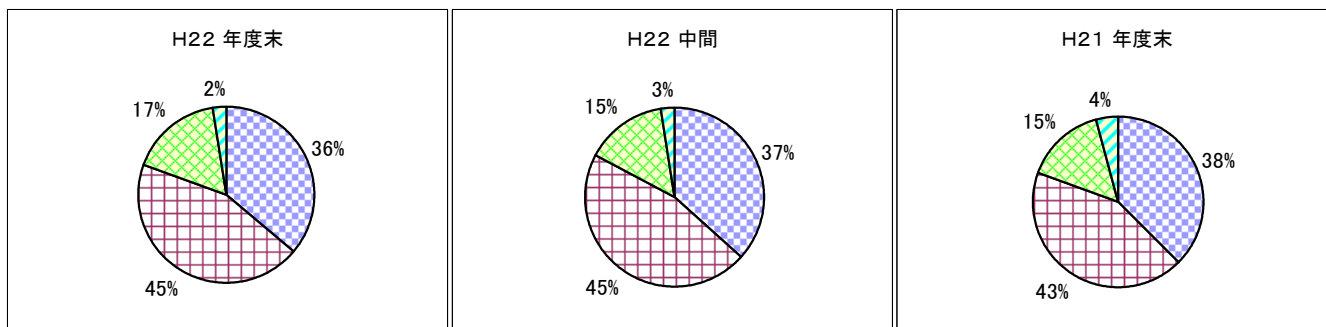


7 総合的にみて、これまでの授業や特別活動にあなたは意欲的に取り組みましたか。

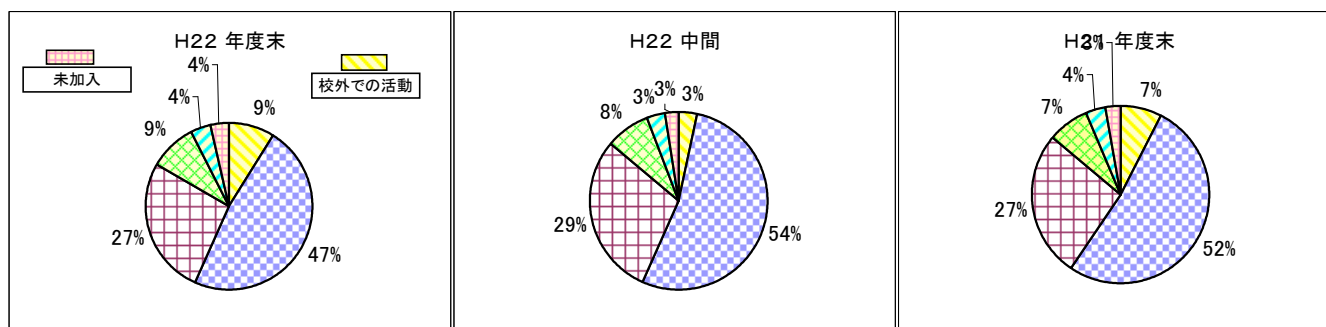


全般的にみて、意欲的に取り組んでいる肯定的評価が高い。本校生徒の傾向でもあり、「強み」でもある。やや課題がみられるのは80%を下回る生徒会活動であり(本年度末74.11%、本年度中間74.78%、昨年度末69.57%)、生徒自身の企画力と行動力がより一層高まることをめざしたい。

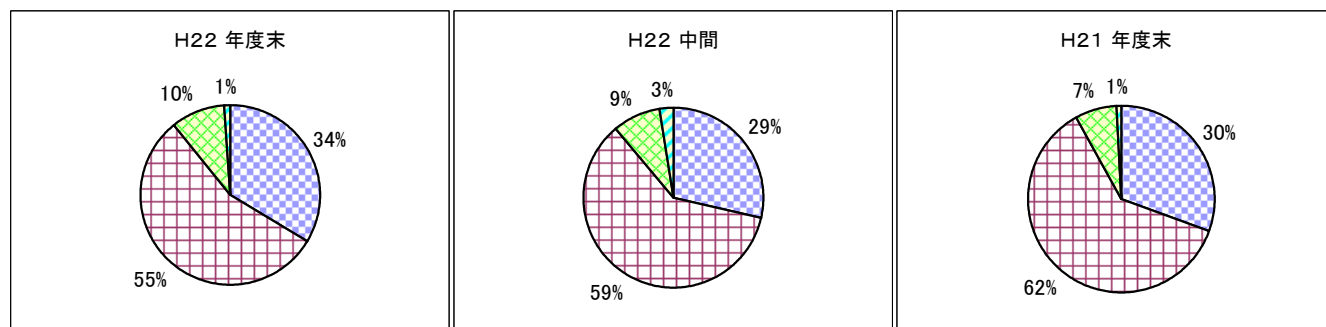
8 朝読書に、あなたは意欲的に取り組んでいますか。



9 部活動に、あなたは意欲的に取り組んでいますか。

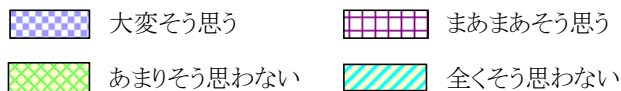


10 あなたはクラスの生徒や先生とのコミュニケーションはよくとれていますか。

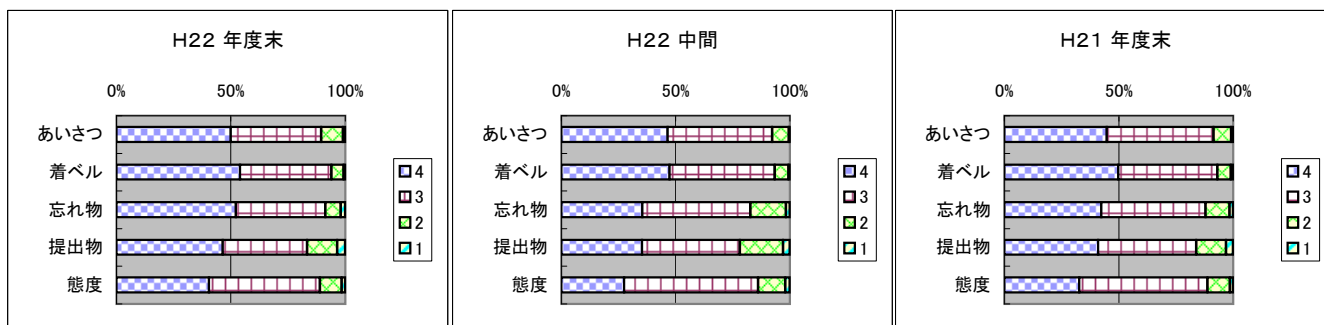


平成22年度 学校評価 生徒自己評価アンケート結果(2月)

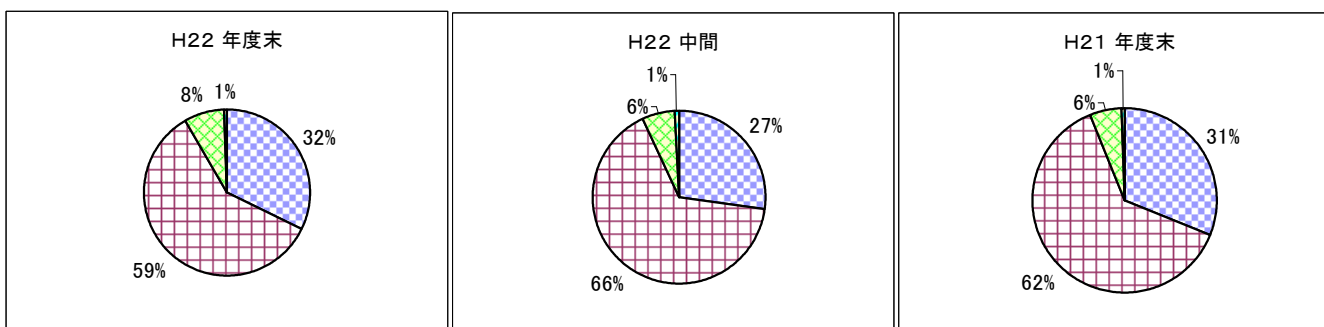
平成23年3月1日
学校評価委員会



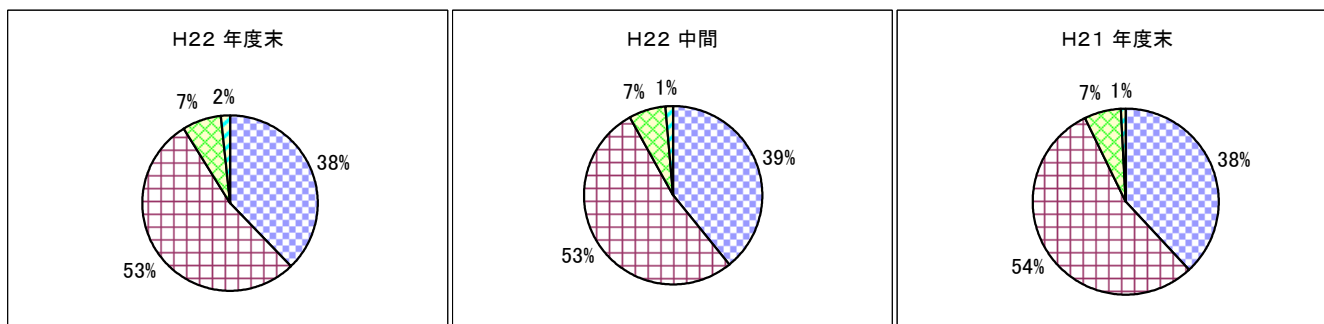
11 あなたは授業での学習規律(着ベルなど)をよく守っていますか。



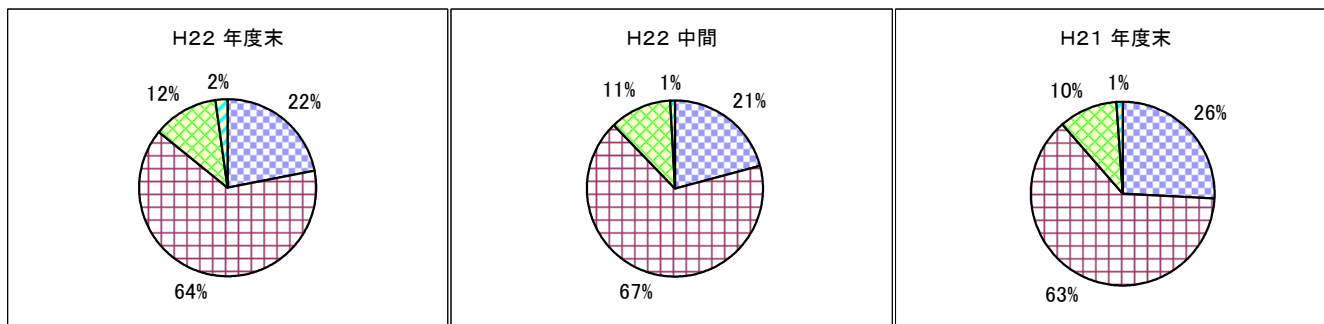
12 あなたは校内のきまりや社会のルールをよく守っていると思いますか。



13 あなたは平素からあいさつをよくしていますか。



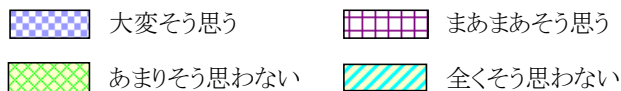
14 あなたは学校でそうじに一所懸命取り組んでいますか。



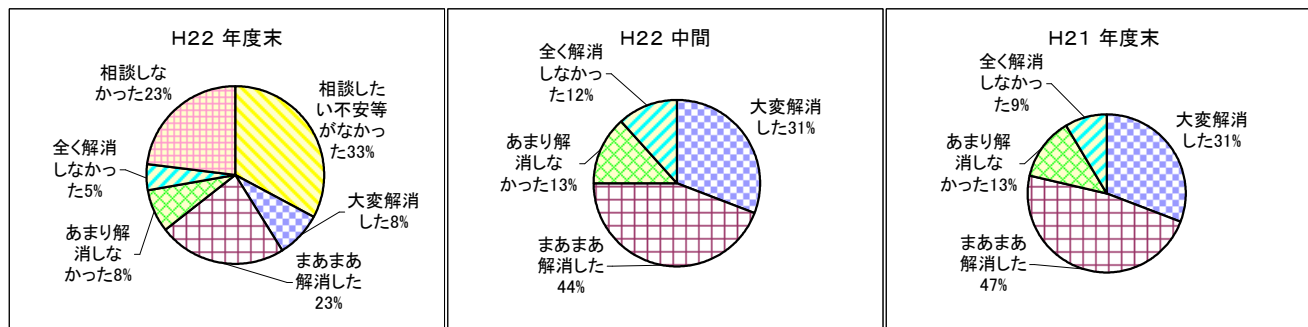
あいさつや掃除についても、生徒自己評価の肯定的評価割合は9割近い結果となっているが、より一層の「質の高さ」を求めていく指導を行っていきたいと考える。

平成22年度 学校評価 生徒自己評価アンケート結果(2月)

平成23年3月1日
学校評価委員会

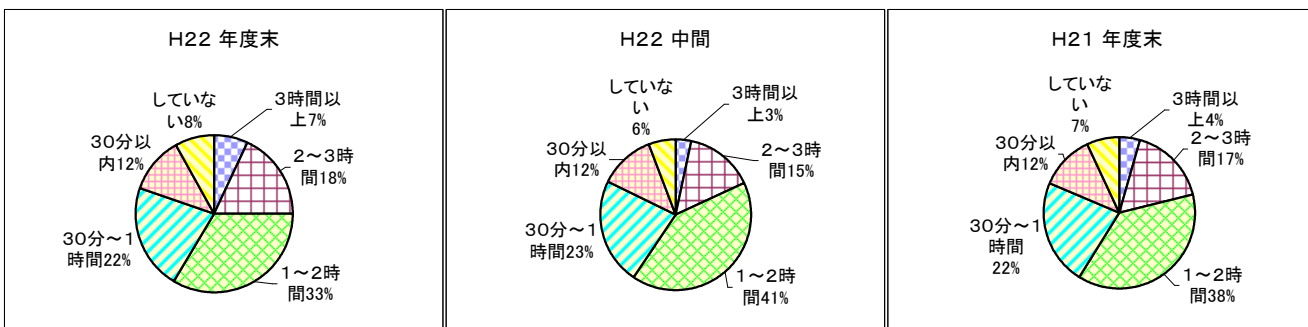


15 あなたは教育相談で不安・悩みがどのくらい解消しましたか。



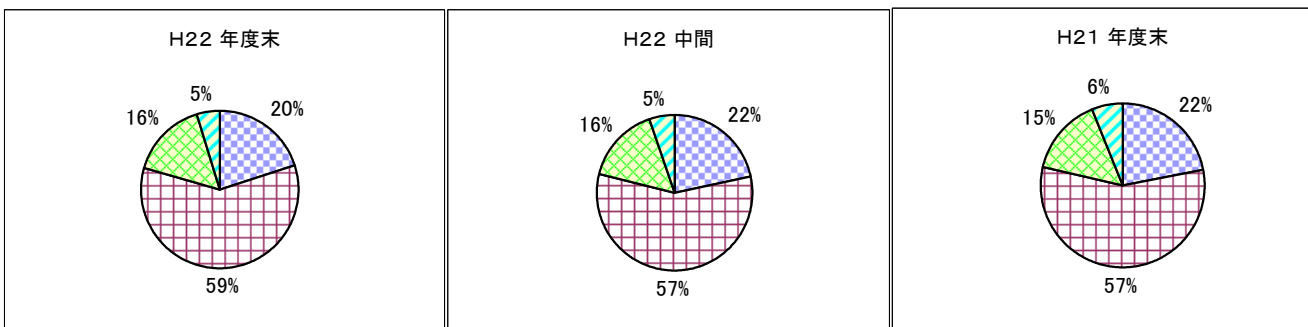
教育相談に関する質問を少し変えてみたところ、「相談したい不安等がなかった」「相談しなかった」という項の割合が55.75%を占めた。「相談しなかった」という回答率のとらえ方をどうとるかによって違うが、担任とのコミュニケーションがとれているという評価では約9割の生徒が肯定的にとらえている。また、相談の結果71.7%の割合が肯定的である結果から教育相談が効果的であったと分析できる。

16 あなたは家庭学習に1日平均どのくらいの時間取り組んでいますか。(塾や家庭教師の時間は除く)

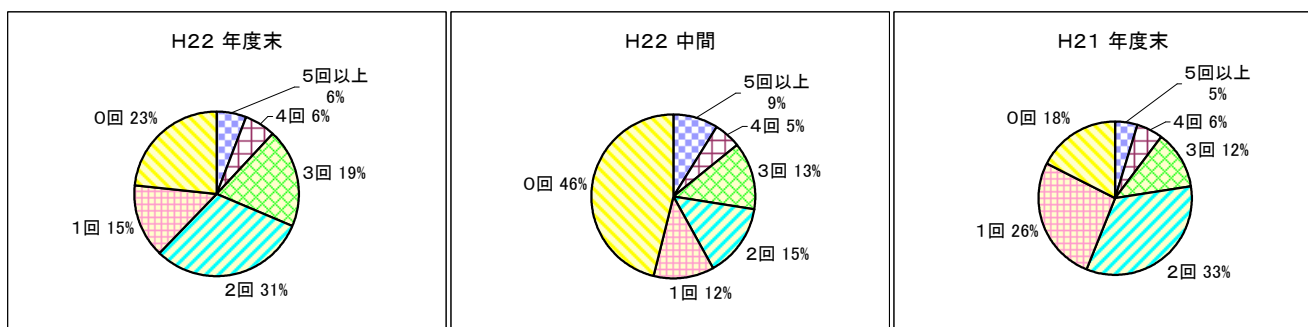


家庭学習の時間が0～1時間以内である生徒の割合が41.34%である。塾等の時間を除いた時間であるが、家庭学習の効果的な行い方について教科会等でしっかりと吟味し、指導や支援を行っていく必要がある。

17 あなたは家での手伝いを毎日、自主的にしていますか。

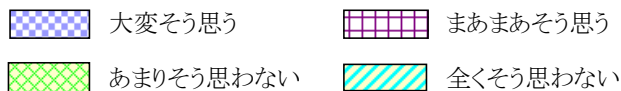


18 あなたはこれまで学校や地域などでのボランティア活動に何回参加しましたか。

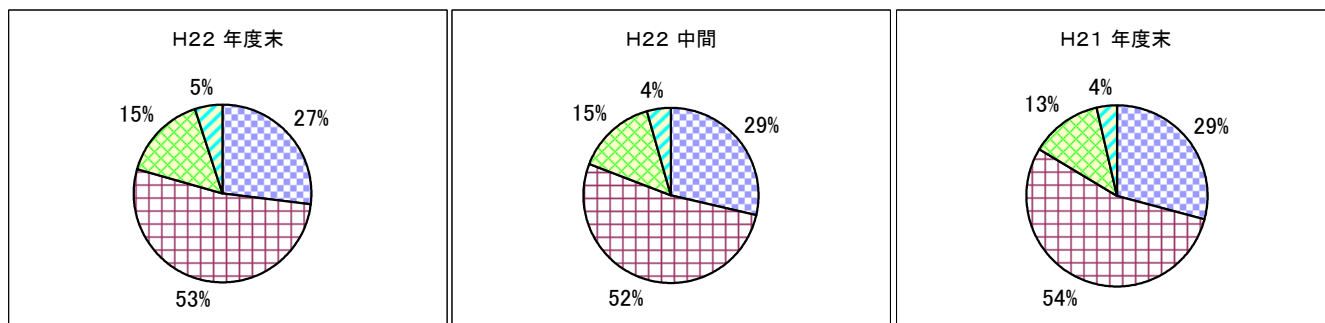


平成22年度 学校評価 生徒自己評価アンケート結果(2月)

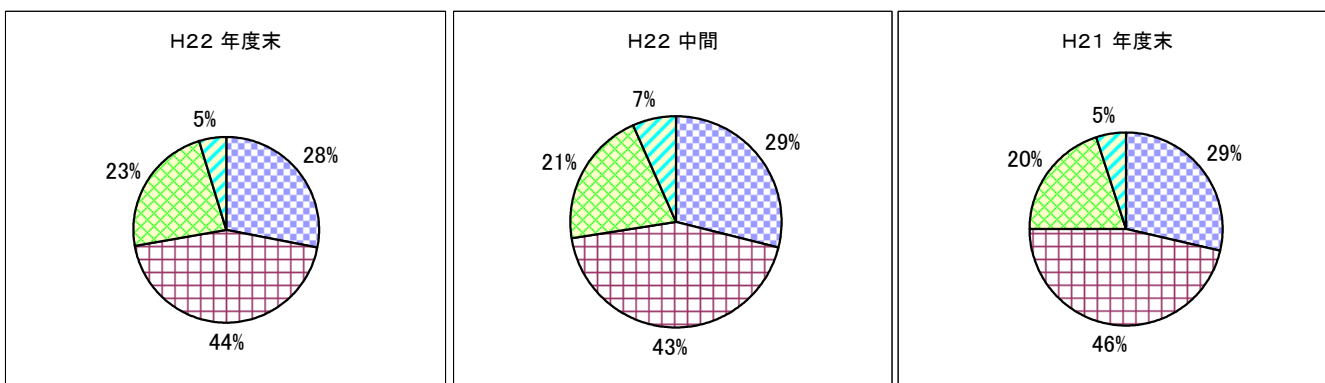
平成23年3月1日
学校評価委員会



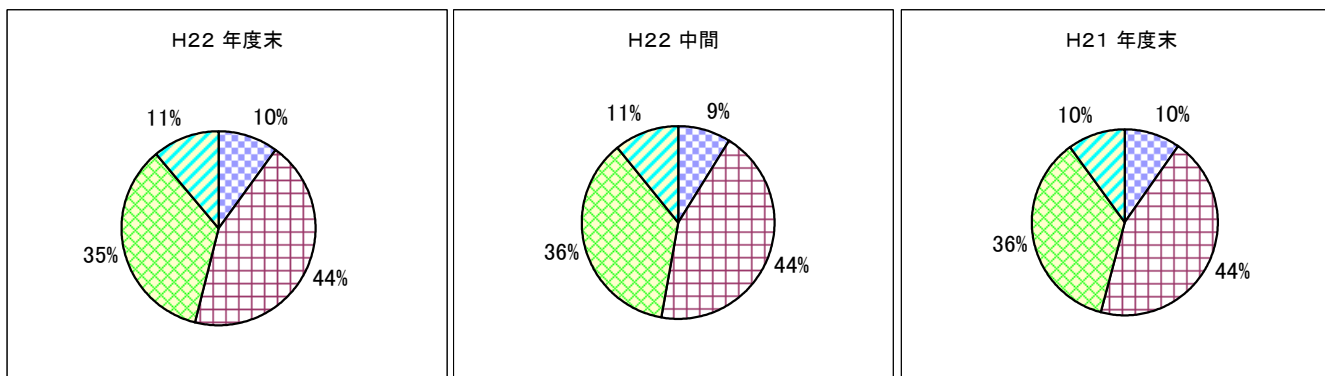
19 あなたは自分自身を大切にしようとしていますか。



20 あなたは、色々なことに対して「やればできる」と感じていますか。



21 あなたは、自分が周りの人に対して「役に立てる」と感じていますか。



生徒のもつ3つの感「自己存在感」「自己効力感」「自己有用感」における否定的自己評価割合は、それぞれ20.5%、27.7%、46.1%(昨年度末16.39%、25.07%、45.95%)という結果であった。これら3つの感と学力(考え、判断し、実行する力)を、相乗的に考え、ESDを全教育課程に導入し、その実践を継続していくなかで、3つの感が向上するか、検証してみる価値がある。